

国語 全学統一方式・学部個別配点方式

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文 ※1	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
四 漢文 ※1	マークと記述を併用	15	
合計		100	

〈問題選択について〉

方式	学部	解答する問題
全学統一・学部個別	文学部	一、二、三または一、三、四
	上記以外	一、二、三

* 合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

※1 文学部では、「二 現代文」と「四 漢文」は選択問題です。
 なお、文学部以外では漢文の独立問題は出題しません。

【出題の基本方針】

高等学校の学習を基礎としつつ、大学入学後の学びをスタートするにあたって必要なレベルの文章読解力を問うように問題文を選び、出題している。現代文では、文章全体の流れの中で語句を適切に理解しながら、文章の読解が進み、主題の把握

へとつながるように問いの順番を考慮して出題した。古文・漢文も文章全体の趣旨を正確に理解できるかどうか、受験生の読解力を問う問題を中心に問題を出題し、読解の前提である文法や語彙などの基礎知識の習得がなされていることを確認するための問題も出題している。

【学習のポイント】

- ・ 学習にあたっては、まず、文章全体の大意を把握し、そのうえで、文章の構成や、個々の文章・語句の位置づけを理解できるよう心がけること。
- ・ 現代文では、特に評論文で使われる概念や比喩的な表現の理解が必要となる。普段から評論文を読み、頻出概念や比喩的な言い回しに慣れておくこと。ある程度の長さの評論文を短時間で理解する訓練をすること。
- ・ 筆者独得の表現や考えが展開されることもある。先入見にとらわれず、文章中のキーワードを把握し、文章が示しているものを的確に理解することを心がけてほしい。
- ・ 繰り返しや言い換えなどで強調されている箇所が作者の主張したい内容であることが多い。文章の趣旨を理解するうえでの重要なポイントとして注目すること。
- ・ 語彙・句法・表現技法などについては、普段から評論文に親しみ、初見の語句は辞書で調べる習慣を身につけたい。漢字については、同音異義語に注意するほか、丁寧かつ正確に書くように普段から心がけること。
- ・ 文学史については、単なる作者や作品名の暗記ではなく、文学史の流れとして学習しておくこと。
- ・ 古文は、基礎的な語彙や文法についての知識を身につけ、正確に意味を読み取れるように心がけること。主語となる動作の主体が誰か、敬語表現にも留意して丁寧な読解を心がけること。日記や物語の中の和歌の技法・形式についても注意しておくこと。
- ・ 漢文は、基本的な知識を問う問題であるので、基礎的な語彙の意味をきちんと理解して、文章全体を読み取る力を養うこと。